

4庁方式を維持が7割

質問

庁舎問題は、市において最も重要問題になり、市民の関心も高まってきた。

日本共産党は、庁舎アンケートに取り組んでおり、9月9日に「しんぶん赤旗」の読者ニュースで、中間まとめを報告した。結果は、

- 現在の4庁舎方式を維持する(69%)
- 増築はやめ、現施設を耐震補強し使う(67%)
- 借金を増やす事業はやめるべきだ(57%)

住民の声の一部を紹介すると、

「高齢化社会を迎えている現在、佐屋地区偏重の統合は時代逆行だと思つ。行政が近所であることが、まず第一。」
「永和出張所を利用して。私も含め高齢者が多く、これから増えるので維持してほしい。」

「津島市と合併し、庁舎は津島にすべきだ。従つて増築は暫定であり、仮設で十分。勝幡地区は、市役所が遠く、津島を通つて行くことはばかげ

ている。」

「借金が増えるのは反対。立派なものにする必要はないので節約すべき。一般の家庭でいかに借金を増やさないようと日々考えているので、安易に借金を作るのとはどうかと思つ」

このような市民の声について、市長としてどのように受け止めるか。

市長

アンケートの結果は真摯に受けとめるが、市の方針としての考え方は、議会と協議して進めてきている。

日本共産党の庁舎アンケート（中間まとめ）

問1 4庁舎方式か、統合庁舎か	
○4庁舎の維持	69%
○部局を市役所に集める	28%
問2 増築庁舎について	
○施設の耐震化で対応	67%
○増築に賛成 ※「賛成だが費用を減らす」も含む	24%
問3 財政について	
○増築は極力借金を増やさないで建設する	38%
○借金を増やす事業はやめるべきだ	57%

35億円は新築の予算規模

質問

庁舎検討委員会の資料では、増築の場合の総額は16億円から24億円、新築の場合の総額は35億円から41億となっている。35億が新築の下から2番目、41億なら一番上、53億円という数字は、全くない。この事業費35億円は増築ではなく新築の金額ではないか。

総務部長

あくまで増築として進めている。35億円は他市の事例を参考に活用した。

質問

庁舎の維持管理費の推計では、現在の4庁舎の合計に、大規模修理費を含めると、年間約1億6千万円かかる。この金額を下回らなければ経費節減にはならないのでは。

総務部長

維持管理費は、整理を今している。